

温泉利用暖房使用家庭のご感想 <その5>

【小和田 濱さん宅 一般販売温水利用暖房】

◆新築時に温泉利用暖房を始める◆

20年前に家を新築する際に温泉利用暖房を始めました。家は気密性が高いため、ボイラーを利用した床暖房(真冬に使用します)と1階リビングに設置したこの温泉利用暖房1台以外には暖房は使用していません。2階天井のファンを24時間回すことで家中に暖かい空気が回るようになっており、家中のドアは開けっ放しにしているので3階まで暖かいです。

春と秋、11月いっぱいくらいまでは、温泉利用暖房だけで過ごしています。それでも家の中は20℃位になり快適に過ごせます。家中が暖いので、唯一ドアを閉めるトイレでも便座ヒーターを使用したことがありません。電気代も安くすむのでとても助かります。



(リビングに設置された暖房器)

◆温泉の使用状況◆

温泉タンクから、外の流し→暖房→台所を回って最後にお風呂場へ出るようになってい分と、タンクから直接お風呂場に行く分の配管が2本あるのでお風呂の温度で困ることもなく、快適に使っています。暖房への流れは暖房内部のバルブで止められるので、夏は止めておきます。1升の温泉を有効に利用出来ていると思います。

◆温泉利用暖房の状況◆

今の機器は 4 台目くらいになります。どうしても数年で、温泉成分によりファンコイルが腐食し、お湯が漏れてしまい買い替えています。ファンコイルだけで 6 万円、本体全部含めると 10 万ほどかかってしまいます。いろいろなところで温泉を利用した暖房を探していますがなかなかなく、温水を利用する暖房を設置しているため、温泉に対応していないのです。

対策として、バルブ、フレキ部分（暖房内部写真赤丸）は腐食しにくいステンレスにしているのと、ファンコイルのカーブしている部分（暖房内部写真緑丸）が一番腐食して漏湯するので、シリコンを注入、巻いたりして漏れた場合に最小限になるなどの工夫をしています。ファンコイルをチタンなど、腐食しない素材で作ってあれば良いのと思いますが、温泉利用暖房は需要が少ないので難しいのかなと思います。現在、ファンコイルの材質についていくつか検討し、知人と試作中です。長く使えるものが出来ると良いなと思っています。

それでも室内で燃料を燃焼するタイプの暖房と違い、空気が汚れないのは嬉しいです。温泉のおかげで暖かく快適に過ごさせています。



(暖房内部写真)